

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	演習2	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	MA専攻		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	2単位					授業形態	演習
教科書/教材 必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
担当教員情報							
担当教員	阿部雄太、袁輪直子			実務経験の有無・職種	有 MAミキサー		
学習目的							
放送業界に就職する為の知識の習得。実習が円滑に行えるようグループディスカッション。放送業界の規定や法律を理解する。スタジオ実習や現場で通用する力を身につける。							
到達目標							
放送業界の仕組みを理解し、ポストプロダクション、プリプロダクションの立ち位置を理解する。実習の為の準備の授業でもあるので、実習を円滑に行うための完璧な事前準備を目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。インプットだけでなく、アウトプット、生徒自身が能動的に考えさせる授業を中心にこなって行く。						
注意点	この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			概要説明、及び講師紹介			
2回	作品制作1 1分CM作品（打合せ）			実習と連動授業の為、実習が円滑に行えるよう準備する			
3回	MAでのProToolsの使用方法について			MAでのProToolsの使用方法を理解する			
4回	プリプロダクション・ポストプロダクションの概要			プリ・ポストプロダクションの立ち位置、仕事内容を理解する			
5回	タイムコードの種類			タイムコードについて理解する			
6回	作品制作1の視聴会			自分の作品、他の学生の作品を見比べ、音に関する考え方の違いなどを理解する			
7回	作品制作2 15分情報番組（打合せ）			実習と連動授業の為、実習が円滑に行えるよう準備する			
8回	オンエアフォーマット			作品ごとのオンエアフォーマットの違いを理解する			
9回	著作権について			著作権の重要性、仕組みを理解する			
10回	効果音学1（効果音とは）			効果音とはどのようなものかを理解する			
11回	効果音学2（フォーリー）			フォーリーとは？、フォーリー収録の方法などを理解する			
12回	効果音学3（ライブラリー制作）			効果音に於けるライブラリーの重要性を理解し、ライブラリー制作の方法を学ぶ			
13回	作品制作2の視聴会			自分の作品、他の学生の作品を見比べ、音に関する考え方の違いなどを理解する			
14回	作品制作3 ラジオCM制作（企画立案の方法）			実習と連動授業の為、実習が円滑に行えるよう準備する			
15回	作品制作3 ラジオCM制作（台本作成）			実習と連動授業の為、実習が円滑に行えるよう準備する			